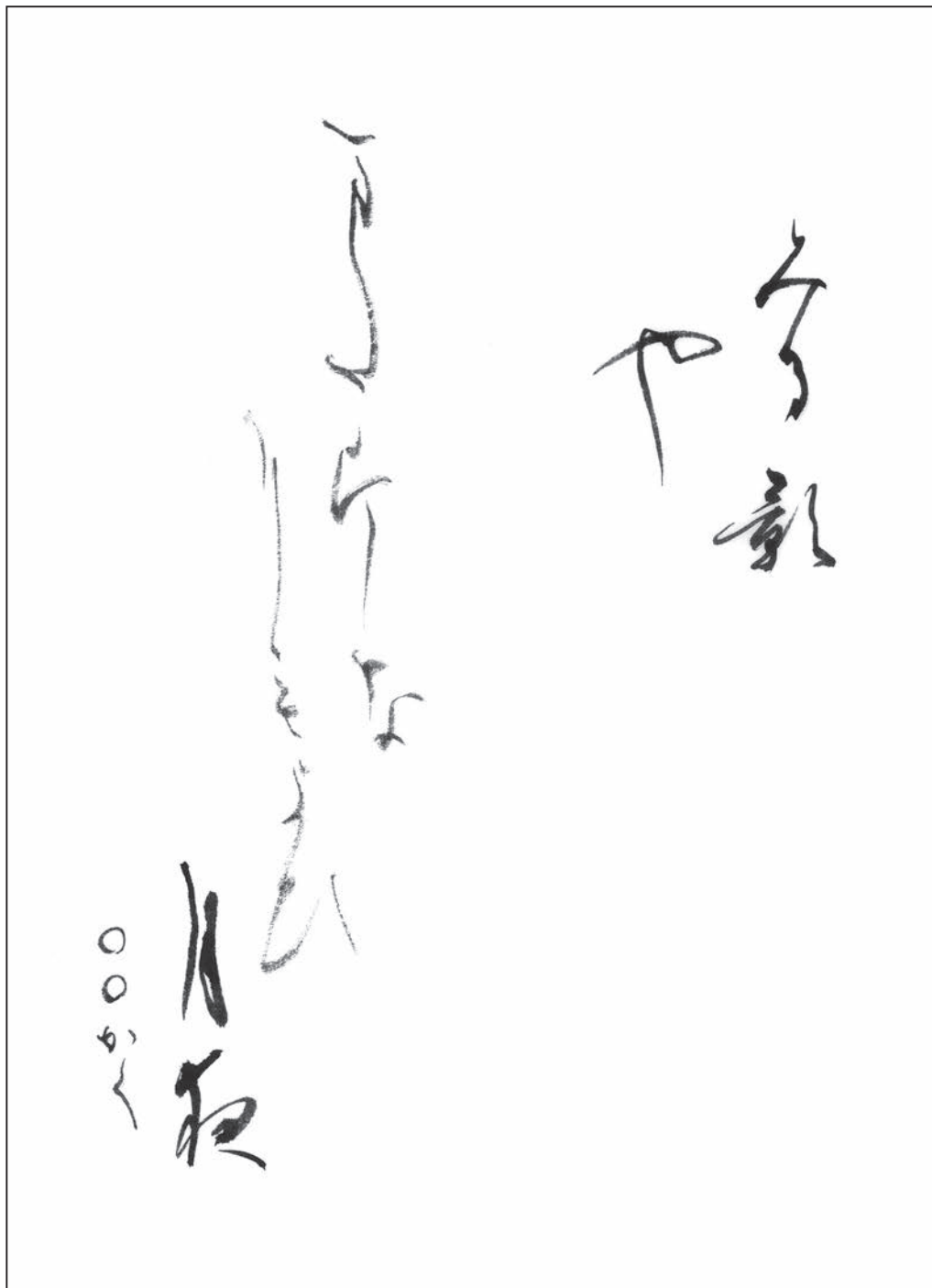


第五十回 全国学生書写書道展 参考資料



高校 (G) 俳句

見る影や

まだ片なりも

宵月夜

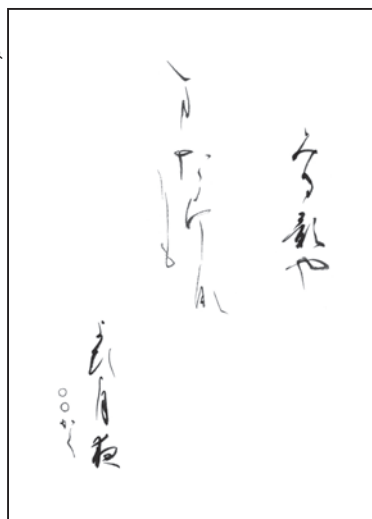
ふとふり仰ぐ天の一方に宵月がかかり、秋気はいよいよ満ちてきた。新月の風情はまだ十分とは言いがたいが、やはりどこか満月の清影をしのばせる趣を備えていることだ。



見る影や

まだかたなりも

宵月夜



見る影や

まだ片なりも

宵月夜